

昭島市教育委員会殿

学校名 昭島市立光華小学校  
校長名 眞 砂 野 裕 公印

## 令和7年度 教育課程について (届)

このことについて、昭島市立学校の管理運営に関する規則に基づき、下記のとおりお届けします。

## 記

## 1 教育目標

## (1) 学校の教育目標

人権尊重の精神に基づき、自主性と創造性に富み、心身ともに健康で人間性豊かな知・徳・体の調和のとれた児童の育成を目指して次の目標を掲げる。

- 健康な子 【心身共に健やかでたくましく、自己や他者のウェルビーイングを大切にできる児童】
- 考える子 【主体的・対話的な学習を通して、正しい判断力、思考力、表現力を身に付ける児童】
- ◎ すすんでする子 【自ら課題を発見し、意欲的に探究し、主体的に活動できる児童】
- 協力する子 【多様性を尊重し合い、助け合うことのできる社会性豊かな児童】

◎は令和7年度 重点目標

## (2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

## ア 確かな学力の定着

- (ア) 問題解決型学習を学力向上の主軸とし、そこで必要となる基礎的・基本的な知識及び技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、主体的に学ぶ態度を醸成する。  
するために、
- (イ) 教科横断的な学習や探究的な学習を効果的に展開するために、一人一台のタブレット端末を有効に活用し、個別最適な学びや協働的な学びの充実を図る。
- (ウ) インクルーシブ教育の理念の下、発達段階や障害の状況に応じた合理的配慮と、連携型個別指導計画に基づいた通常学級と特別支援教室の連携を推進する。

## イ 豊かな心の醸成

- (ア) 教育活動全体を通じた人権尊重教育の推進により、性的志向を含めた多様性の相互承認や、あらゆる偏見を生まない集団意識を推進する。
- (イ) 道徳教育や保健教育の充実を図るとともに、自然体験やゲストティーチャーによる学習の機会を生かし、自他の生命を尊重する「生命の安全教育」を推進する。
- (ウ) 「SOS の出し方に関する教育」を日常的に実施し、いじめや暴力的言動に対する正しい行動をはじめ、児童が適切に援助希求行動ができるよう支援する。
- (エ) 学校いじめ対策委員会において「いじめ認知報告書及び解消報告書」「いじめ防止アンケート」等を活用し、ガイドラインを踏まえて児童・保護者に寄り添った対応を徹底させていく。
- (オ) 不登校児童への対応として、WEB QU 等を活用し、家庭、SC、SSW、子ども家庭支援センター等の関係機関との連携を密にして、教育相談体制の充実を図る。

## ウ 健やかな体の育成

- (ア) 体力・運動能力調査等の結果から児童の実態を把握し、「元気アップガイドブック」やコーディネーショントレーニングを活用した体力向上への取組や、「グッドモーニング 60分」を活用した健康な生活習慣づくりへの取組を組織的に行う。
- (イ) 安全教育年間指導計画に基づき、避難訓練、セーフティ教室等の実施、防災ノートや東京マイ・タイムラインの活用を通して、安全教育や防災教育を推進する。
- (ウ) 家庭・地域と連携した食育を推進するとともに、アレルギー疾患対応マニュアルに基づき、保護者・担任・学校が児童の状況を適切に把握し、食物アレルギー事故防止の徹底に努める。
- (エ) 病気予防の一環として「薬物乱用防止教室」および「がん教育」を実施するとともに、コロナウイルス感染予防に関する定期的な見直しと指導に努める。
- (オ) 児童の運動遊びを重視し、学校施設を十分に活用した取り組みを推進する。

## エ 輝く未来に向かって

- (ア) 「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を踏まえた幼保小連携や小中連携教育の充実を図るとともに、「学校生活支援シート」を活用し障害ある児童にとっても、安心できる学校づくりを目指す。
- (イ) キャリア・パスポートを軸に、学校と家庭が協働し、児童の成長を支える体制をつくる。
- (ウ) プログラミング教育やデジタルシティズンシップ教育を日常化し、ALT や英語村を活用することで国際社会において活躍できるグローバルな人材の基礎を育成する。
- (オ) コミュニティ・スクールとして地域および社会に開かれた特色ある学校づくりを推進する。